

平成29年度の地方創生関連交付金事業の取組について

【推進交付金】

<継続>

1 多様性のある森里川湖のつながりを生かした森おこしプロジェクト

(平成30年度で事業終了)

①エコツアーリズムガイドの育成

平成29年12月19日(火)に認定式を行い、平成29年9月から11月までの3箇月間にエコツアーリズム論や鈴鹿山脈の自然についての講義、現地での実習を経て17人が初のエコツアーリズムガイドに認定されました。今後は、鈴鹿10座や自然を生かしたツアー、イベント等で活躍されます。



②SEA TO SUMMITの開催

平成29年6月3日(土)・4日(日)に五個荘コミュニティセンターや「能登川水車とカヌーランド」をはじめとした東近江市内の鈴鹿山脈から琵琶湖までを会場に、「SEA TO SUMMIT(自然環境をテーマにしたシンポジウムや環境スポーツイベント)」を開催し、全国各地から集まった参加者249名が、カヤックやカヌー、自転車、登山で本市の自然を体感されていました。



今年も6月2日(土)・3日(日)に開催を予定しています。

③市内産材による製品開発

東近江市の豊かな森林資源を生かした商品をブランド化(森と水ブランディング)し、広葉樹を生かした家具の商品化に取り組みました。

市内で、材の生産から加工までを想定し、サプライチェーンづくりに取り組みました。



④木地師のふるさとシンポジウムの開催

平成29年11月18日（土）に愛東コミュニティセンターで、豊かな森林資源を生かして日本の産業や文化の振興に貢献してきた木地師の歴史的価値と全国に広がるネットワークを再評価するとともに、その意義を後世に伝え、木の文化、森の文化の大切さを考えることを目的に、「木地師のふるさとシンポジウム」を開催しました。

当日は、長い歴史の中で日本中に広がった木地師の子孫の方々などが市内外から参加されました。

木地師を研究されている大学教授の基調講演と現役の木地師を交えたパネルディスカッションでは、木地師文化の歴史的価値を再認識し、木地師文化の発信とそれらを活用したまちづくりの方策について意見交換を行いました。



2 ビワイチ推進プロジェクト（平成32年度で事業終了）

①鈴鹿10座の支援組織の設立支援

鈴鹿10座の保全・活用プランを策定し、ハード・ソフト両面にわたる取組を計画的に進めます。道の駅奥永源寺溪流の里を拠点に鈴鹿10座の情報収集及び情報発信を進めるとともに、ガイド団体の組織化に向けて協議を進めています。

②トレイル整備

登山環境の整備および道迷い防止のため登山道整備及び標識の設置を行っています。

- ・登山道整備補修
銚子ヶ口（北尾根コース・風越谷東峰線）、
御池岳（T字尾根コース）
日本コバ（藤川谷コース・政所道）
- ・道標設置（御池岳・藤原岳・雨乞岳・イブネ）



<新規>

3 広めよう！「滋賀の産品」首都圏で磨き上げプロジェクト

(平成31年度で事業終了)

・東京日本橋に滋賀県が滋賀県の魅力を発信するアンテナショップ「ここ滋賀」をオープンされ、平成29年11月23日(祝)、24日(金)に、本市をPRするイベント「東近江市 day-い〜もんうまいもん&日本酒バル-」を開催しました。

ここ滋賀1階イベントエリアでは、ふなずしやホンモロコ、近江米、永源寺こんにゃくなど、東近江市の味覚が並び、屋上階のテラスでは、オリジナルおちょこで市内6酒蔵のお酒の飲み比べを行いました。



【拠点整備交付金】

<新規>

4 マーガレットステーション地域拠点化事業（平成29年度で事業終了）

・本市の最も集客力のある施設「あいとうマーガレットステーション」を改修し、本市で生産される農産品や農業自体を売りとした「ブランド化戦略の確立に資する収益施設」及び「観光施設」としての機能強化を図ります。



5 中心市街地空家再生活用事業（平成29年度で事業終了）

・本町商店街の隣接地にある古民家を市が買い取り、中心市街地活性化の起爆剤の一つとしてテナント店舗へ改修し、飲食店や物品販売のお店を募集し、誘客施設として整備します。

